

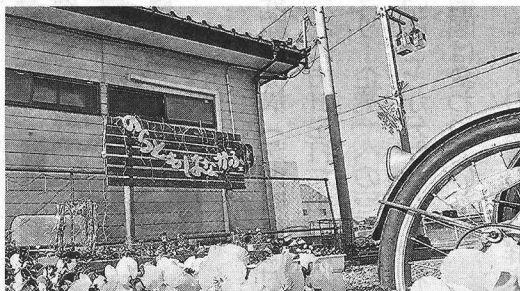
3・11 後 を生きる

仮設住宅が並ぶ福島県南相馬市鹿島区で二年半前に開設した「のらとも農園」は、今月一日より新たに同市のJR小高駅前百六十七坪の土地をお借りし、オープンガーデン「のらともはなかふエ」写真Ⅱをオープンしました。もつすぐ震災から五年。同市小高区はいまだに避難指示解除準備区域ということをご存

東北復興日記



164



のらとも農園
広畑裕子さん



つながり咲く「はなかふエ」

じですか。この状況は誰も想像しませんでした。生きることは思い通りにならないこと
の連続なのです。

のらとも農園は、開園時の約束通り来年三月の段階で元の状態の更地にする準備に入りました。毎日少しずつ鹿島から小高に引っ越していきます。花の苗を作っていたピニールハウスも撤去しました。毎日のように「どこに行くの」「寂しくなる」などと声をかけていただいています。皆さんの愛情でここまでくる
ことができました。

が行われています。小高に自宅の修復などで訪れる時、色が失われたままで寂しい感じがしました。そんな風景の中で「ちょっとした、ほっとする場所があれば……」心に花を思い浮かべられたら」とガーデンをオープンしました。のらともコンセプトは、一人一人が自分の心と会話できる場所になるように「明るい開放感」を目指しています。そこから自分の居場所や新しいコミュニティ、つながりが生まれてくればと思っています。

小高は来年四月に避難解除を目指して今、除染・復旧工事を
を過ごしました。その間、多
小高は震災一年目のよう
です。私たちは違う場所
で四年

くの人励ましやつながりが生まれました。のらとも農園の花は、ボランティアやツアード南相馬に来ていただいた全国の皆さんの元へ旅立つことができました。春にはすべ
ての花が咲くように、日々みんな花の手入れをしながら、「はなかふエ」は少しずつ歩んでいきます。

※のらとも農園は現在も花の苗を全国に有償で届けています。問い合わせは、広畑さん
電話090(9038)8680。

この連載は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。